



2022年11月 発行

あらためて がっこうぎょうじ いぎ かんが 改めて「学校行事」の意義について考えてみました。

先月の「杉中祭」お疲れ様でした。前号でもお話をした通り、一年間の半分の時間が過ぎ、主な「学校行事」や「学年行事」が終了しました。そこで今回はタイトルにもあるように、なぜ学校では「学校行事」が行われているのか、「学校行事」の意義について考えてみました。

そもそも、日本の教育の方針を示している文部科学省では、「学校行事」の意義について、次のような内容となっています。

●文化的行事(いわゆる文化祭ですね)

文化的行事を通して、

- ①白頃の学習活動の成果を発表し、その取り組みを通して成長すること
- ②文化や芸術に親しむこと。



●健康安全・体育的行事(いわゆる体育祭ですね)

体育的行事を通して、

- ①運動に親しんで取り組み、体力を向上させること、健康の維持・増進をはかること。
- ②事件・事故または災害等から身を守ることができる行動を身につけること。
- ③規律ある集団行動を身につけること。
- ④与えられた役割を果たす責任感や連帯感を身につけること。



以上の内容を踏まえてみると、「杉中祭」は見事に両方の要素を持った「学校行事」であることがわかります。時間をかけて仕上げた「横断幕・ホリゾン・団旗」、学年の垣根を越えて繋がれた各団の「パフォーマンス」や「団体種目」、学年の団結力を感じられた「学年種目」など・・・。白頃の学習活動の成果を存分に発表してくれました。また、規律ある集団行動や与えられた役割を果たす責任感や連帯感を大いに成長させることができました。

ちなみに「校外学習」においては「①日常とは違った生活環境の中で見聞を広めること。②自然や文化などに親しむこととよりよい人間関係を築くこと。③集団生活の在り方や守るべき社会のルールについての体験を積むこと」となっています。みなさんは達成できましたか？

『勝った・うまくできた・達成できた・得意な事』の経験値も、『負けた・うまくできなかった・達成できなかった・嫌な事』の経験値も、どちらの経験も大きな成長の糧となります。目標や課題に向かって、とき

には自分なりに工夫してみよう。ときにはマイナスな感情と折り合いをつけて一歩踏み出してみよう。ときには周りからサポートしてもらおう。

つまり、「学校行事」の意義とは貴重な経験を通して、大きく成長できる、または成長に繋がる大切な場の一つだということです。「学校行事」で得た経験値をこれから白頃の学習活動の中で、自分なりに、仲間とともに、どう活かしていくのか、それはあなた次第ですね。もちろん、「勝った」「負けた」だけの結果がすべてではありません。自分のゴール(将来の夢や目標、希望する進学先、目標とする成績)に向かって自分のペースで進んでいくことが大切です。応援しています！

泣いていいよ 怒鳴っていいんだ 悔しがった姿
さらしてみろ さがしてみろ 自分だけのドラマ
笑っていいよ 愛していいんだ へたくそな姿
無我夢中に 自分らしく やればいいんだ
比べるもんじゃない あいつはあいつ俺は俺
みんなが主役それぞれ輝ける場所で



とあるグループが歌う
とある歌の歌詞です。
みなさんが一歩
踏み出す一欠片(ひと
かけら)になれば幸いです。

れんらくじこう 【連絡事項】

1つ目です。

7月ごろから始まった、学校内の改修工事がついに終了し、10月21日から教室棟1～4Fすべてのトイレが使用できるようになりました。とても綺麗でまるでホテルを思わせるような設備となっています。以前にもお伝えをしましたが、みなさんや未来の杉中生が気持ちよく過ごせる環境を作っていきます。一人ひとりの温かい心遣いが大きな力となります。

2つ目です。

防寒着・防寒具の着用について、確認です。校則では以下のようになっています。ルールを守って、みんなが過ごしやすい環境を作っていきます。

【服装のきまり】

③冬季、防寒具(手袋、マフラーなど)を着用してもよい。また、**ブレザーを着用しても寒い場合は、防寒着(コートなど)を着用してもよい。**

- ・防寒着の着用は原則として指定された日(10月中旬)から春休み終了日までとします。
- ・防寒具、防寒着の着用は登下校時だけとし、教室内及び校内で着用しないこと。
- ・ひざかけは教室のみで使用すること。廊下など移動時の使用は認めない。

3つ目です。

11月7日(月)に避難訓練を行いました。大地震に備えて安全の確保とグラウンドへの避難の流れ、点呼の確認を行いました。今回の避難訓練を通して、学校で一つの命も落とさない避難の仕方を振り返りましょう。また、家にいるときや外出をしているときの避難の仕方を家族でしっかりと話し合う機会にしてください。